

所属・資格 史学科・教授

申請者氏名 武井 紀子

研究課題		日本古代の官衙（山城・城柵）における倉庫の機能について
報告の概要	研究目的 および 研究概要	本研究課題は、日本古代の官衙における倉庫の役割と機能について、文献史料・出土文字資料の双方を用いて具体的に明らかにすることにある。古代の官衙には、様々な目的で倉庫が付随していた。申請者は、これまで国家財政と倉庫との関連について主に研究してきた。本研究課題では、軍事事業に関する施設である兵庫や兵士らの公糧を備蓄しておく倉庫、特に、軍事に特化した古代西海道・瀬戸内海沿岸を中心とする山城および東北地方の城柵官衙における倉庫について取り上げ、山城・城柵における倉庫機能の具体的解明を通じ、軍事施設の運営や特徴について明らかにすることを目的とする。
	研究の 結果	倉庫遺構が検出されている古代西海道・瀬戸内海沿岸の山城と東北地方の城柵をリストアップし、その遺構について比較検討した。その結果、一般の国府や郡家の倉庫とは、規模や立地に相違が見られることを明らかにした。また、山城と城柵における稲穀管理のあり方について、関連する文献史料・出土文字資料を整理した。そして、軍事的な要請から築城された山城と、官衙的な側面も併せ持つ城柵とでは築城の時期や目的が異なるが、そうした施設の性格の相違が倉庫機能の面にも現れていたことを明らかにした。
	研究の 考察・ 反省	関連史料、先行研究のまとめについては、おおかたの整理を終えることができた。ただし、個別論文の作成・公表するまでに至らなかったため、その点は今後の課題としたい。また、現地踏査なども当初予定していたが、他業務との関連から十分な調査ができなかったため、あわせて今後の課題としたい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>研究成果物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武井紀子「山王遺跡第178・198次調査出土の木簡の解読と内容について」(多賀城市教育委員会『多賀城市文化財調査報告書第157集 多賀城地区ほ場整備事業に係る発掘調査報告書』第3分冊(本文編)山王遺跡(本文編)附章4第三章、pp.331-338、2023年2月17日) 	